

神戸市感染症発生動向調査週報 … 第27週 (令和3年7月5日～令和3年7月11日)

2021/07/15作成 神戸市感染症情報センター

インフルエンザ (設置定点数:48/報告定点数:48 … 東灘区: 6 灘区: 3 中央区: 3 兵庫区: 3 北区: 8 長田区: 3 須磨区: 6 垂水区: 8 西区: 8)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6 カ月	～12 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14 歳	～19 歳	～29 歳	～39 歳	～49 歳	～59 歳	～69 歳	～79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

小児科 (設置定点数:31/報告定点数:31 … 東灘区: 4 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6 カ月	～12 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14 歳	～19 歳	20歳 以上	＜新型コロナウイルス感染症に関する神戸市の相談＞ ○一般健康相談 078-322-6250、24時間対応 ○各区保健センター 8:45～17:15 詳しくは、神戸市のホームページをご覧ください。 URL: https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/coronavirus.html
RSウイルス感染症	↑	47	2	21	0	47	6	51	104	31	309	10	26	87	75	60	31	14	5	0	1	0	0	0	0	＜対応方針・対策本部員会議資料＞ https://www.city.kobe.lg.jp/a73576/kenko/health/infection/protection/coronavirus_houshin_taisaku.html
咽頭結膜熱	→	3	0	0	0	2	0	0	0	0	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	0	0	1	0	9	0	2	0	0	12	0	1	3	4	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	
感染性胃腸炎	↓	12	3	1	2	24	5	32	14	18	111	1	8	23	12	12	8	7	5	4	4	1	12	4	10	
水痘	↓	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
手足口病	↑	0	1	0	1	2	0	1	0	1	6	0	1	3	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	
伝染性紅斑	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
突発性発しん	↓	1	1	0	0	2	1	1	1	4	11	0	2	9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ヘルパンギーナ	↑	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
流行性耳下腺炎	↑	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	

眼科 (設置定点数:10/報告定点数:10 … 東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2)

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6 カ月	～12 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14 歳	～19 歳	～29 歳	～39 歳	～49 歳	～59 歳	～69 歳	70歳 以上	
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↑	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

A型	B型	A型およびB型 ※
0	0	0

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

定点あたりのRSウイルス感染症の患者数が、過去5年の流行期と比較して、約1.5倍と非常に多い値で推移しています。本疾患は乳幼児に多く見られる急性呼吸器感染症で、乳幼児の肺炎の約半数がRSウイルス感染症によるものとされています。2歳までにほぼ全員が最低1度は感染するとされており、症状は風邪症状から肺炎まで様々です。昨年より新型コロナウイルスの感染対策として、マスクの着用や手洗いが徹底された結果、乳幼児がRSウイルスの免疫を獲得する機会がなく、今年の流行につながったと考えられています。RSウイルスは大人が感染しても軽症で終わることが多く、気づかない間に乳幼児に感染を広げてしまうことがあります。周囲の大人で咳などの症状がある場合は、マスクの着用や手洗いうがいを徹底し、乳幼児への感染を防ぎましょう。施設では、子どもたちが日常的に触れる手すりやおもちゃを定期的に消毒し、接触感染を予防しましょう。

＜定点医療機関からの報告＞

東灘区○カンピロバクター2例: 11歳 男 2例
 腸管出血性大腸菌1例: 6歳 男
 ノロウイルス3例: 1歳 男、1歳 女、2歳 男
 中央区○アデノウイルス2例: 10か月 女、1歳 女
 北区○アデノ扁桃炎1例: 1歳 男
 腸管出血性大腸菌1例: 1歳 男